

Challenging

OTSUMA Ranzan



大妻嵐山
ここでなら
できそう。

Otsuma Ranzan Junior and Senior High School

Global Eco-Science School

埼玉県比企郡嵐山町菅谷 558 0493-62-2281 大妻嵐山中学校高等学校 2020.10.1

【「大妻祭 2020」始動！】… テーマは「わっしょい」 私たちの決意!…

今年度の大妻祭（文化祭）は、コロナ禍の社会情勢を考慮し、オンラインでの開催となりました。

新型コロナウイルスの影響で学校行事の中止が相次ぐなか、「コロナだから中止？そんなことは許さない」。こうした逆境が嵐山生のプライドに火をつけた。このまま「大妻祭」を中止にすることは嵐山生としてのプライドが許さない。オンライン上で文化祭を開催する学校が目立ち始めたなかで、「嵐山ならできる」を合言葉にインターネット上に仮想の展示空間を作って作品展を開いたり、動画サイトで動画を公開したりと演出にも知恵を絞る。

テーマの「わっしょい」には、彼女たちの強い決意が感じ取れる。ちなみに、「わっしょい」という掛け声は、重い神輿をみんなで一つになって「和して背負う」意味合いの「和背負え（わしよえ）」や「和し背負え（わしよえ）」が「わっしょい」に転じたとも言われている。「背負う」とは一般的に「背中に」人や物を乗せる動作を意味するのだが、今回は、文化祭で神輿を担ぐわけではないが、「大妻祭」という大イベントを皆で力強く背負っていくことを意味しているのでしょうか。

文化祭の実行委員長で高校2年の工藤さんは「部活の試合や学校行事がなくなり、もどかしさを感じていた。文化祭は何としてもやりたかった」。約20人で構成する実行委はコロナ禍の夏休み中もビデオ会議システム「Zoom」などで議論を重ね、組織体制や運営マニュアルもゼロから見直した。

前例のないオンライン文化祭。一般公開はないものの、動画として配信する予定。「見る人に楽しんでもらえる文化祭にしたい」と実行委は意気込んでいる。まさに、大妻祭というイベントを皆で背負っている姿が何とも「わっしょい」…粋であった。



【ミニチュア制服登場】…ミニチュア制服の学校放浪記…

それにしても、時が過ぎるのは早いもの。コロナ禍の中で、短い夏休みも終わったかと思いきや、気がつくともう10月。

夏服も冬服へとかわり新しい学校生活への突入。夏服さんご苦労様でした。冬服さん、これからよろしくお願ひします。そこで、あらためて校内を探索。校内を見渡してみるといたるところで嵐山生の元気を肌で感じました。「私たち、コロナに負けませんから」の意気込みなののでしょうか。そうは言いながらも、行事の変更や中止は何とも残念でした。嵐山の海外研修も苦戦続き。オーストラリアはコロナ対策がとても厳しく、数人の感染者で街は直ぐにロックダウン。現在も外国からの入国はできません。そのため、ターム留学は、7月に延期。3月に予定されていたオーストラリアへの語学研修も同様に7月に延期が決定。グローバル・エコ・サイエンス・スクールとしての嵐山では、何とも悲しい限りです。その中であって、「大妻祭」の開催は朗報ですね。何としてでも、嵐山に



活気を取り戻そうとする実行委の意気込みには、頭が下がります。オンライン文化祭、私たちも楽しみです。これからはイギリス研修に修学旅行等々。数多くの行事がまだまだ予定されています。万全の感染防止対策のもとで、何とか実施したいですね。

わくわくWS ～「プログラミング女子になろう！」～…嵐山 だから、できる?…

9月12日(土)に小学生を対象とした「わくわくワークショップ～プログラミングを楽しもう～」が開催されました。

小学校では教育改革の柱として、英語教育とならんで2020年度から必修化がスタートするプログラミング教育。それで



は、なぜ小学校にプログラミング教育を導入するのでしょうか? いまや、コンピュータは人々の生活の様々な場面で活用されています。家電や自動車をはじめ身近なものの中にもコンピュータが内蔵され、人々の生活を便利で豊かなものにしていきます。誰にとっても、職業生活をはじめ、学校での学習や生涯学習、家庭生活や余暇生活など、あらゆる活動において、コンピュータなどの情報機器やサービスとそれによってもたらされる情報とを適切に選択・活用して問題を解決していくことが不可欠な社会が到来しつつあります。そこで、コンピュータをより適切、効果的に活用していくためには、その仕組みを知ることが重要です。コンピュータは人が命令を与えることによって動作します。端的に言えば、この命令が「プログラム」であり、命令を与えることが「プログラミング」です。プログラミングによって、コンピュータに自分が求める動作をさせることができるとともに、コンピュータの仕組みの一端をうかがい知ることができるので、コンピュータが「魔法の箱」ではなくなり、より主体的に活用することにつながります。

さて、今日嵐山に訪れた嵐山キッズたち。将来にわたり君たちの創造力を開花させ、起業や特許を取得するなど将来の社会で活躍できるきっかけとなることを期待しています。

【開催報告】未来の嵐山生募集!

9月19日、20日に中学校と高校の学校説明会を開催しました。両日とも、たくさんの方にご参加いただき大盛況となりました。

未来の嵐山生を迎えて、学校説明会に協力いただいたアドミッションの皆さん本当にありがとうございました。参加された小学生や中学生の皆さんにとって、嵐山生の「おもてなし」はいかがだったでしょう?



中学部の説明会では、参加児童を対象に本校の理科教員による、授業体験「顕微鏡で微生物をみてみよう」が行われました。学校の近くに流れる都幾川まで先生方が出向いて、採集してきたたくさんの魚や水生昆虫の数々。大きなオタマジャクシには、手を焼いた小学生もいたことかと思いますが、嵐山のサイエンス部の優しい先輩らのサポートを受けて、無事に顕微鏡で微生物を見つけることができたのではないのでしょうか。



わずかな時間であったかもしれませんが、中学や高校の雰囲気そして在校生の様子を感じていただけたのではないかと思います。

【追記】嵐山では、次の日程で中高ソフトテニス部の練習体験会を行っています。

ソフトテニスに興味がある方や、本校ソフトテニス部への入部を希望している方など大歓迎です。

①10/24(土) 14:00 ②11/22(日) 午前の部 9:30～ 午後の部 13:00～

大妻嵐山中高ソフトテニス部 練習体験会



「私はできる！」

日設 10月24日(土) 14時～17時
11月22日(日) 9時30分～12時
13時～17時

※途中参加・退場、複数回の参加可能です。

持ち物 運動着・運動靴・タオル・飲み物・ラケット・
昼食(必要な場合のみ)

場所 本校テニスコート(駐車場横)

参加方法 HPIにある応募フォームよりお申込みください。

問い合わせ先 林(顧問) 0493-62-2281

※天候等により、中止になる場合があります。